

前橋市

マカで見る

公共施設

ふあしりてい まねじめんと

公共施設は市民ひとりひとりの財産です。今、みんなでごえましよう。



マンガ作成に
協力いただいた

東日本デザイン&コンピュータ専門学校の学生さん



▶ 2年生
笹渡 瑞稀 さん
土谷 真由実さん
毒島 紗耶 さん
星野 晶 さん
山木 あかり さん

▶ 1年生
内田 晴香 さん
狩野 里奈 さん
小堺 七海 さん
志村 優太 さん
正田 朱花 さん
橋本 春花 さん

▶ 教員
横田 今日子 先生
朝日 泰博 先生

私達が作成
しました

作業風景



① マンガの流れを決める



② 人物、風景などの下書きを行う



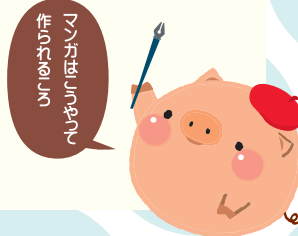
③ 下書きを基に清書



④ マンガに色を入れたり



⑤ セリフを入れる



学生さんの感想

- 私も日頃近所にある図書館など利用していますが、今ある公共施設を維持していくことが大変なことだということがわかりました。(山木さん)
- みんなが安全・安心して生活をするには、いろいろな工夫が必要なんだと改めて知ることができました。私もできることから協力していきたいです。(毒島さん)
- 普段の制作は個人的な作業なので、今回の企画のようにみんなで1つのものを作り上げるのは楽しかったです。(笹渡さん)
- 普段描いているスタイルではない絵柄で描くのは苦労しましたが、大変勉強になりました。(土谷さん)
- 制作中に取材で写真を撮られてとても緊張しました。限られた時間の中での制作だったので間に合うか不安でしたが、みんなと協力して完成できたので良かったです。(星野さん)

発行元：前橋市公資産活用プロジェクトチーム
事務局：前橋市財務部資産経営課
〒371-8601 群馬県前橋市大手町二丁目12番1号
電話：027-898-6654

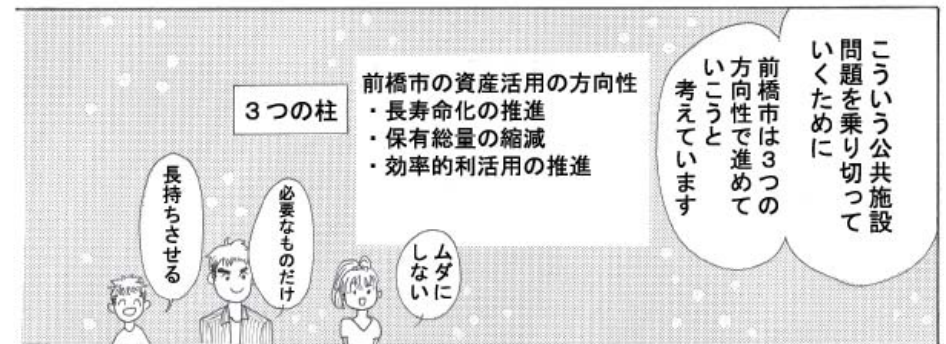
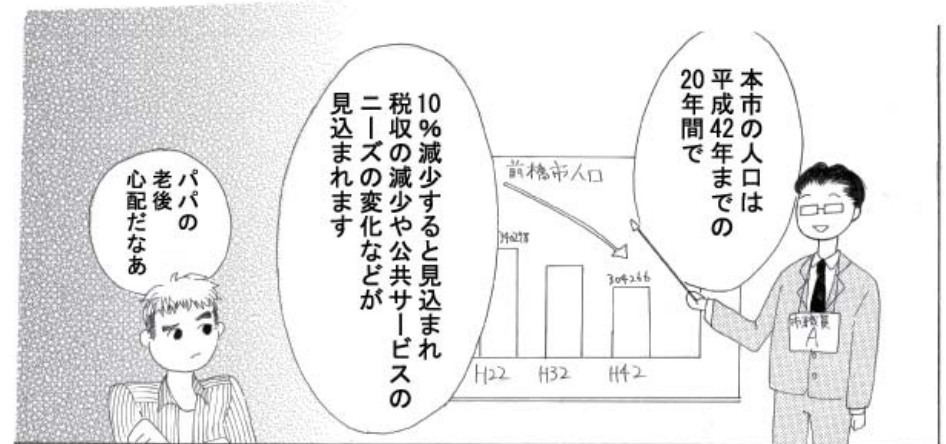
協力先：東日本デザイン&コンピュータ専門学校
〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町 1098-1
電話：027-267-1171
学校HP：<http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/>



▶ 前橋市のファシリティマネジメントについて詳しくは前橋市HPをご確認ください。

前橋市 ファシリティマネジメント

検索



●公共施設・インフラに関する事故等

●平成24年12月
 笹子トンネル天井板崩落事故(山梨県)
 - 1975年完成(事故発生時 築37年)



天井板のコンクリート板が約130mにわたって落下し、走行中の車が巻き込まれた。死者9名、負傷者2名。

●平成25年2月
 浜松市第一弁橋事故(静岡県)
 - 1965年完成(事故発生時 築48年)



橋を支えているワイヤーケーブルの2本のうち1本が切れ、橋が傾いた。高校生が渡っている最中だったがケガは免れた。

●平成18年6月
 市立図書館外壁化粧板落下事故(富山県)
 - 1970年建築(事故発生時 築36年)



2階ベランダの外壁に張られていた化粧板4枚が落下。このうち1枚が乗用車に落下し、屋根が陥没。

事故の背景

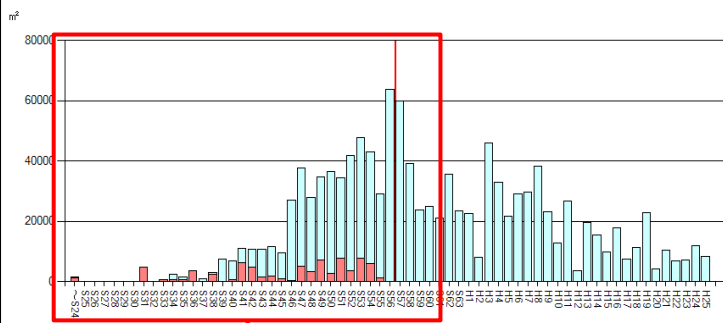
老朽化

公共施設・インフラの多くは、高度経済成長期に集中的に整備され、更新すべき時期が迫っている。

●前橋市の現状

年度別公共施設建築状況

保有施設: 770施設
 保有面積: 1,419,099㎡

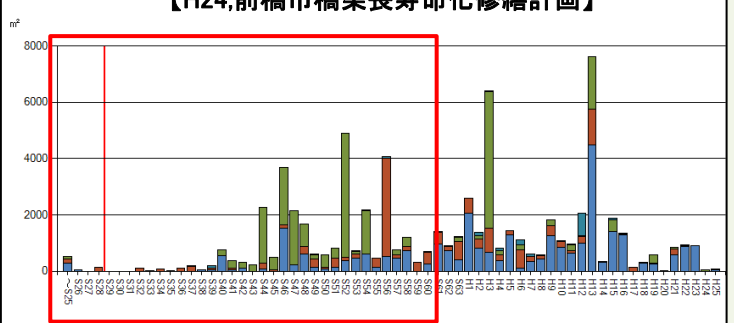


築30年を越える施設
 約56%



年度別橋りょう建築状況

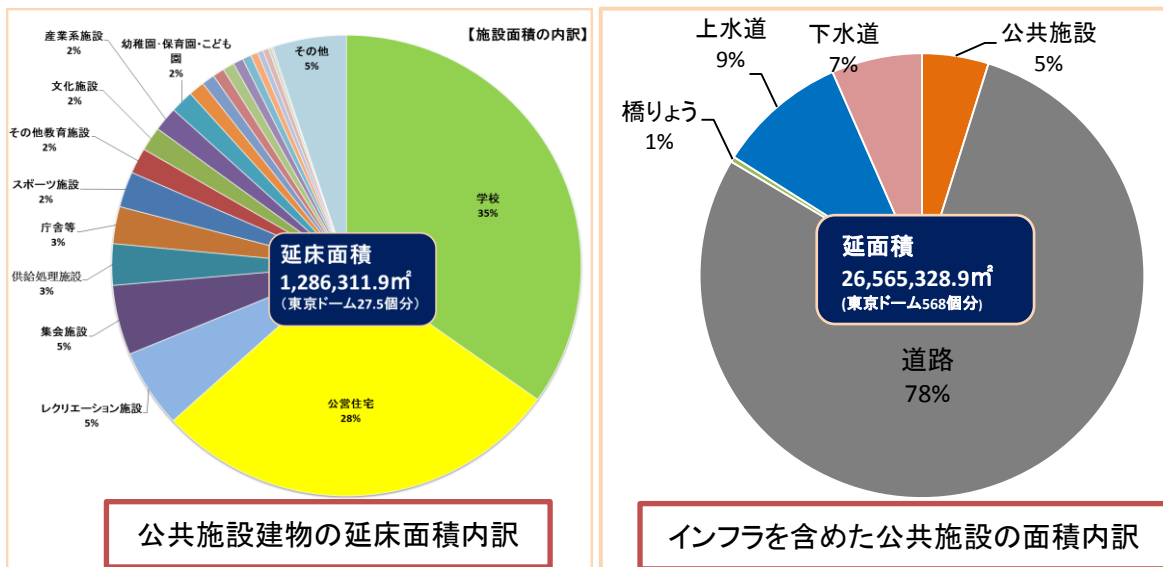
保有総量: 2m以上→約1,300橋
 (うち15m以上→238橋)
 【H24,前橋市橋梁長寿命化修繕計画】



うち築30年を越える
 15m以上の橋りょう
 約52%



● 公共施設等の保有面積総量



● 公共施設等の更新問題

【公共施設等総合管理計画】 平成27年8月策定

公共資産等の全体の状況を把握し、長期的な視点で、長寿命化・更新・統廃合などを計画的に行い、財政負担の軽減化、適切な行政サービス提供等を目指すための計画。

◆ 将来の更新費用推計の一覧

(単位: 億円)

	過去5年実績平均 (A)	推計		
		40年間総計	1年あたり (B)	倍率 (B/A)
公共施設	60.0	5,101.5	127.5	2.1倍
道路	41.6	1,940.8	48.5	1.2倍
橋りょう	1.0	333.7	8.3	8.3倍
上水道	16.7	1,690.6	42.3	2.5倍
下水道	32.2	1,839.6	46.0	1.4倍

過去5年間に於ける1年あたりの平均更新費用 (左側注釈)

今までと比べて必要となる費用 (右側注釈)

一斉更新→費用増加
人口減少→税収減少

今までどおりの適正な維持管理が難しくなる

施設の安全性や機能性の低下

事故の危険性が高まる

新たな工夫・やりくりが必要

●今までの通りの施設の維持管理が行えなくなると・・・

公共建築物



ひび割れ・・・

雨漏り・・・



道路・橋りょう



でこぼこの道路・・・

接続部分のサビ・・・



上・下水道



水漏れ・・・

水道管の老朽化・・・



●新たな工夫・やりくりの方向性(資産活用推進のイメージ)

公共施設 建物

長寿命化の推進

- 計画的な予防保全工事
- 施設の長期使用
- 中長期的な財政負担の平準化と軽減

効率的利活用の推進

- 管理コスト、利用者ニーズの把握
- 空きスペースの活用など、効率的な運営方法の検討
- 市有地の管理状況の検証

保有総量の縮減

- 機能維持を目的とした施設の複合化、集約化
- 施設配置（規模）の適正化
- 低、未利用地の積極的な売却

インフラ系施設

◆道路・橋りょう

全体の優先順位による更新を行い、適正に維持管理を図る。構造物の長寿命化によりライフサイクルコストの縮減を図る。

◆上水道

計画的な施設更新、水質管理の徹底、ライフサイクルコストの縮減を図る。

◆下水道

関係部署との連携を図りながら効率的な汚水処理事業を進める。長寿命化、耐震化に取り組む。

※ライフサイクルコスト・・・施設の設計・建設費などの初期投資、運営開始からかかる管理運営費、改修費用、解体費用などの施設の一生に必要な費用のことです。

統合された学校に市立図書館を設立 (山形県 西川町)



町内の学校を1つに統合するのに合わせて学校面積の1/4を占める図書館を整備。

体育館や図書館は地域の人にも使える形にして地域交流を図る場となっています。

保健福祉センター内に郵便局を誘致 (神奈川県 秦野市)



センター内の空きスペースに郵便局を誘致、住民票などの証明書発行業務も委託。

施設利用者の利便性向上に加え、建物賃借料収入の確保という面もあります。